



幸福の科学学園、滋賀県大津市に関西校を開校予定

学校法人 幸福の科学学園(理事長 泉聡彦)は、(仮称)幸福の科学学園関西中学校・高等学校の2013年4月開校を目指し、2010年10月28日滋賀県大津市仰木の里東2丁目などの土地、約7万9千㎡について、独立行政法人「都市再生機構(UR)」と譲渡契約を締結しました。

幸福の科学学園は、本年4月、栃木県那須町に幸福の科学学園中学校・高等学校を開校(全寮制)していますが、関西校はこれに次ぐ2校目にあたり、主に西日本の地域を対象とする、寮を主体とした学校を考えております。

現在は、まだ構想段階であり、今後、滋賀県からの「中学校・高等学校の設置認可」を受けられるべく、具体的な手続き等を進めさせていただきますが、各種メディアより取材等いただいておりますので、ここにご報告させていただきます。

開校後は、真に社会に有為な人材を多数輩出して学校としての社会的責任を果たすことはもとより、地域の活性化にも貢献すべく精進してまいります。

《設置主体》

学校法人幸福の科学学園

栃木県那須郡那須町大字梁瀬字扇田 487 番地 1

《校地予定地》

所在地 : 滋賀県大津市仰木の里東2丁目16番1、他

総面積 : 79,104 m²

《その他》

予定地は、大津市の地区計画において、「業務・公益地区」としての土地利用(研究、教育、研修、業務施設、保養施設、医療施設並びに生活利便性の向上に寄与する沿道型の施設等の導入)のために、開発された土地でありますので、教育目的以外に活用する予定はございません。